西日本サイディング・News
2023年（令和5年）
11月30日
（第200号）

発行
西日本サイディング事業協同組合
事務局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル（旧下村ビル）6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:https://www.siding.jp/west/

職人の減少が深刻化の一途。2040年は2020年比の約6割に！

当組合は、各支部および全国連合会と共に高品質な施工を世に提供し、工事業者が経営を安定させて職人を守り、そして未来を担う若者を育てるべく道標をつけることを社会的役割としている。しかし現実的に見て、若年の入職者の減少は非常に危ういところまできている。

「2024年問題」を目前に生産性向上が喫緊の課題に

「2024年問題」と呼ばれる時間外労働の罰則付き上限規制の猶予期間終了が目前に迫り、建設業の労働生産性について各所で不安が顕在化していることもあり、組合員各位においても危機感が高まっていることだろう。

今では「人手不足」「職人不足」「職人の高齢化」という言葉が毎日のように聞かれる状況になっているが、「いつまでに何人足りなくなるのか」について、予想のつく人が一体どれだけいるだろうか？

引退はあっても入職がない…職人は82万人から51万人へ

2023年6月に発表された調査（※）では、2040年には職人（住宅建設技能者）の数が2020年比で63％にまで減少すると予測された。2020年に82万人いた職人が、2040年に約51万人になる。

2020年では職人の多くを45～49歳、65～69歳が占めている（総務省国勢調査より）。この世代の大半が2040年までに高齢化で引退すると考えられる。加えて労働環境や賃金水準などがネックとなって若年層の参入が減るため、職人の総数は減少する一方となる。特に顕著な減少が見られるのは、全体の減少幅の半分以上を占める大工だ。

着工数の減少幅を上回る供給力の減少

2040年の予測職人数が2020年比で約6割に減少してしまうことによって危惧されるのは、将来の住宅市場を支える担い手がいなくなることだ。というのも、新設住宅着工戸数は減少して2040年には2020年比36％の約55万戸となるが、職人の減少幅が住宅の減少を上回ると予測されているからである。

2010年当時は住宅需要と供給力のバランスが取れており、「住宅建設技能者1人当たりの新設住宅着工戸数」が年間約0.8戸であったのに対し、2015年以降はその約1.3倍に当たる約1.1戸になると予想されることから、今後深刻な人手不足状態が見込まれる。2040年の住宅需要をカバーするには2010年比1.3倍の生産性向上が求められる。

今できる取り組みを進め、将来の住宅市場を支えよう

2023年2月から全国連合会が（一般）社団法人建設技能人材機構（JAC）の正会員となり、組合員企業が特定技能による外国人労働者を受け入れることが可能になった。これは人手不足解消に向けた一つのスタートである。

また、「施工店登録制度」によって施工店数の把握による業界のとりまとめおよび情報発信を効率化したり、サイディングの標準施工の普及に努めたりもしており、生産性の向上につながる取り組みを精力的に進めている。今は、20年後の住宅市場をしっかりと支えられる業界となるべく、各支部で手を取り合って地盤固めに注力する時期であろう。

※野村総合研究所調べ（データの出典も同資料より）

40年、美しさがつづく壁、
光セラ18。光セラ
色 40年 品質

ウェブサイトで
光セラの美しさの秘密、10年後の実例を
ご紹介しています。

暮らしをまもる 住まいを魅せる
ケイミュー株式会社
■大阪第1・第2営業所 〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13F
■神戸営業所 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F
■京滋営業所 〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町34番地

組合員インタビュー

「技術力の高い専属職人」と「機動力」を武器に問題を迅速解決

「後に続く若者に明るい未来を見せたい」

株式会社愛知　代表取締役　酒井義広氏

三州瓦の産地・高浜市で30年にわたり屋根・壁工事を手がけてきた、中部支部正会員の(株)愛知。代表取締役・酒井義広氏の父親である酒井凱夫(よしお)氏が屋根工事の専業として1994(平成6)年に開業した。酒井氏は屋根工事業の多い地域で事業の継続を可能にしているのは、職人の層の厚さと機動力だと語る。

創業の経緯や事業の変遷についてお聞かせください。

父の凱夫(現相談役)は、親族で経営していた建材会社から独立し、県名をそのまま冠して(株)愛知を創業しました。事業エリアも、県外は岐阜の一部だけでほぼ愛知県内です。

創業当時、私はまだ高校生でしたが、将来は自分が継ごうと考えていました。小さい頃からよくしてもらった職人もたくさんおり、安心感もありました。

高浜市は日本三大瓦の一つ「三州瓦」の産地で古くから瓦産業が発達してきたため、屋根工事業者や屋根専門の職人が多いという特徴があります。当社も創業時は屋根専門で、次第に外壁も受注するようになりました。

工事で大変なのはどのようなことですか?

進行が天候に大きく左右されることです。屋根は特に大変です。工事予定は雨天日を勘定せずに組むので、雨や台風で遅れた分はどこかで帳尻を合わせる必要があります。そんなときは別の工事店に応援を要請して助けてもらうこともあります。また高所作業なので安全面には非常に気を使っています。安全大会でもそこは徹底して周知していますし、現在では親綱とフルハーネスを使うことで安全を確保しています。

創業約30年。選ばれ続けている理由は?

一つは昔から腕のよい職人が多く、ずっと当社専属でついてくれていることです。

もう一つは「機動力」でしょうか。お客様が屋根の不具合で困っていることに迅速に対応する力。例えば「雨漏りを見てほしい」と電話があれば、すぐにスケジュールを調整して動ける人員を確保し、対応します。実際に工事にかかるまでに、社員と職人両方を動かし、元請け事業者とも話し合うという流れがあるので、そこをスピーディに取り計らう必要があります。

職人の層が厚いからそれが可能なのですね

当社の強みである「機動力」を支えるのが職人です。当社では、屋根と壁それぞれ約10組のグループで体制を組んでいます。もちろん一人でやっている方も多いのですが、常時これぐらいの職人の方々が一緒に動いてくれています。請負ではありますが当社専属です。親から子へ代々続けてくれている方々もいて、職人不足と言われる業界ながらも当社では人手が足りなくて困る状況は何とか免れています。これも当社の強みになっていると思います。

価格に関する業界の問題点をどう捉えますか?

外装工事業の工事価格や職人の賃金が上がらないのは、工事店の発言力が弱いからですよね。例えば元請け事業者と材料メーカーの間で価格が設定されて、そこに工事店は入り込めないといった感じです。現にサイディングの平米単価の見積価格は20年前と変わらないままです。これでは職人の賃金もアップできません。このような長年の構造は変えていくべきだと思います。若者が建設技能者を忌避しがちなことの原因は、結局この構造問題に行き着くのです。

今後の御社、今後の業界についてどうお考えですか?

私には社会人と高校生の息子がいますが、私がまだ40代ということもあり、事業承継に関しては具体的に決めてはいません。私自身は自ら跡を継ぐことを選んだと言いましたが、業界の現状を見ているとなかなか息子たちに引き受けてくれとは言いにくい。継ぎたいと思えるような未来を見せることができていないのが我ながら残念だなと……。

理想は彼らが自らやりたいと言ってくれること。そうなったら親としても経営者としても喜ばしいことです。だから私が今のうちにできるのは、工事業者の地位が低い構造を変え、少しでも魅力ある業界にしていく活動に参加・支援することだと思うのです。私も技術委員会に参加させていただいているので、組合の皆さんと一緒に魅力ある業界づくりに役立ちたいと考えています。

TOPIX

新しい技能実習制度へ議論重ねる 転籍要件は最長2年の制限へ

現在、政府によって見直しが進められている技能実習制度。10月27日には12回目の「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」が行われ、新たな外国人技能実習制度の創設に向けた最終報告書（たたき台）の詳細が公開された。新制度の見直しで重視されているのは、①分かりやすい仕組み、②外国人の人権保護、③外国人との共生社会の実現に資するもの、というのが基本である。

11月15日に開かれた13回会議では、転籍（同分野に限る）の要件として前回出された「同一企業機関での就労期間が1年以上」という案に対する修正案が出された。1年超で転籍可能としていたものを、これを維持しつつ最長2年の範囲で転籍を制限するというものだ。

現行制度では原則として、最初の3年間は転籍を認めていないため、人権侵害が生じる要因であるとされ、問題視されてきた経緯がある。しかし1年超で認めるという制限緩和案に対し、「地方から都市部に人材が流出する」「1年は短か過ぎる」などの異論が続出した。そこで最終的に、就労から1年経過後の転籍を認めると同時に、1年経過後は待遇を向上させることを要件に、政府が分野ごとに「2年を超えない範囲」で転籍制限期間を延ばせるとした。

実は知らない!? 用語辞典 Vol.14

「出隅（でずみ）・入隅（いりずみ）」

ビル建築では防水目的で設置 最近は意匠面で勾配屋根住宅にも採用

建物のコーナー部を指す名称で、外側に出っ張った角を出隅、内側にへこんだ角を入隅という。壁と壁が合わさる場所なので納まりが複雑化し、また壁の中の換気・通気が悪くなりがちなこともあって、出隅・入隅には何かとトラブルが多い。位置的に、出隅は雨に濡れやすく、入隅は日陰になりやすいので通風が悪くなる。入隅の周辺にはハットジョイナーはじめ他の部材が重なっているため特に通気がとりにくく、躯体の劣化を招く。

バルコニーの手すり壁やパラペットの出隅・入隅には特に注意を要する。笠木の継ぎ目部分から水分が入りやすい上に、通気が悪くなりがちだからだ。バルコニーは構造上、小さな範囲に出隅・入隅が多くなるため、極めて危険度が高いといえよう。

今日つれづれ

神戸 睦史〈ハウゼコ〉

11月23日、阪神タイガースとオリックスバッファローズの優勝パレードが、大阪と神戸の2会場を午前・午後で会場を入れ替えてそれぞれ行われた。阪神の38年ぶりの“アレ”のおかげだ。大阪の阪神ファン35万人、オリックスファン20万人。兵庫の阪神ファン30万人、オリックスファン15万人。野球人気がサッカーにとって代わられ様としている中、合計100万人の動員は凄いというしかない。

しかし、よくよく考えてみると、阪神の本拠地は甲子園がある兵庫県西宮市、オリックスの本拠地は京セラドームがある大阪市。上品なファンが多い？オリックスが実は大阪の球団で、上品ではない？ファンが多い阪神が兵庫県の球団という、テレコの現象が起こっている。

大阪の吉村知事が、あたかも阪神を大阪の球団として優勝のお祝いコメントを出していたのだが、実は越権行為だった可能性がある。伊丹空港の問題を大阪府の橋本知事が論じていた時に、後から実は伊丹空港は兵庫県だったという笑い話があった。それと似ている。もっと兵庫県知事は、アピールしたら良いのにと思う。これも、大阪人の厚かましさなのかもしれない。

阪神タイガースの業績は、順位とリンクしていて、強い時ほど業績がよい。今年の業績はまだ出ていないが、昨年の業績は売上推定200億円純利益13億円。今年はもちろんのこと、来年どんな業績が出るのか今から楽しみだ。宝塚が休演続きで業績寄与できそうにない分、充分に補填してくれるのではないかと、阪神阪急ホールディングスの幹部は期待しているだろう。

当分、阪神タイガースの業績は好調を維持し続ける公算が高く、インバウンドで盛り上がる関西経済をより元気にしてくれるのではないかと期待している。

1成分形変成シリコーン系シーリング材
JSIA F☆☆☆☆認定品

最高水準の性能をバランスよく具備

高耐候性
SRシールH100
- 耐候性が格段に向上
- 色あせが少なく薄膜耐候性も向上
- 専用プライマーにより各種被着体に接着
- メンテナンスコストを削減

ノンブリードタイプ
SRシールNB50
- 1液タイプで安定した品質を実現！
- 塗料汚染を抑制
- 優れた耐久性
- 挙動追従性に優れる低モジュラスタイプ
- 硬化時の体積収縮が殆ど無い
- 専用プライマーで各種被着体に接着

豊富な色揃え
SRシールS70

約400色

【荷姿】
（H100/NB50/S70共通　）
▶6ℓ缶：
作業スピードアップ
カートリッジに比べ
大幅コストダウン
実現
▶333㎖：
カートリッジ
好評発売中

サンライズMSI株式会社
本　社：〒592-8334　大阪府堺市西区浜寺石津町中1丁4番7号　TEL 072-244-7500　FAX 072-244-8183
■営業拠点：仙台/北関東/横浜/岡崎/堺/広島/福岡　■工場：岡山/静岡　http://www.sunrisemsi.co.jp

協会だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（10月）

日時 10月4日（水）15：30～17：00
場所 Zoomによるオンライン会議

□広報部会
サイディングニュース11月号の内容検討
・巻頭記事は職人の供給力不足に対する啓発記事。
・組合員インタビューは（株）愛知。
・その他、トレンドニュース など

□役員会
○忘年会について
・11月22日（水）、役員会は開催せずに忘年会を行うことを決定した。
○会費未入金組合員の対応について
○定款変更申請進捗について
○全国サイディング事業協同組合連合会の決定事項を報告
・計画中の広報紙全国化に関しては検討の上進めていくことになった。
・アスベストセミナーは東日本で開催する。
・建設分野の特定技能労働者が3．4万人枠に対して1．6万人に達しているため、受け入れを検討している企業は1年以内の申請が望ましい。
○施工店登録委員会からの報告
・9月30日時点で全国265社が登録。登録数が伸びなくなっているため、新たな募集方法の検討が必要。中部では全組合員が登録を完了している一方、関西では未登録組員が多いので、電話連絡などで登録を促す。

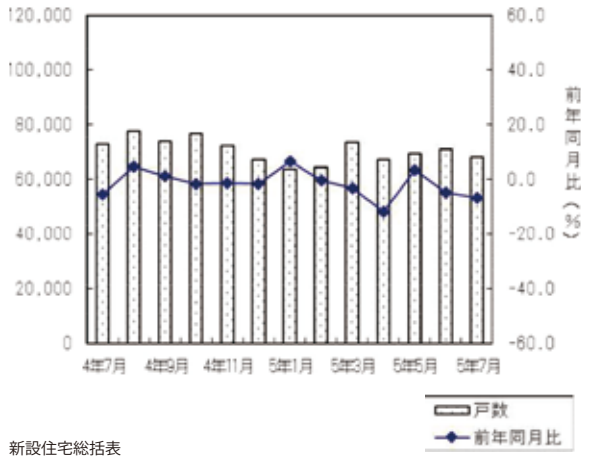
□情報交換会 各社近況報告

大阪で健康診断を実施
10月20日（金）要確認
ますむらクリニック

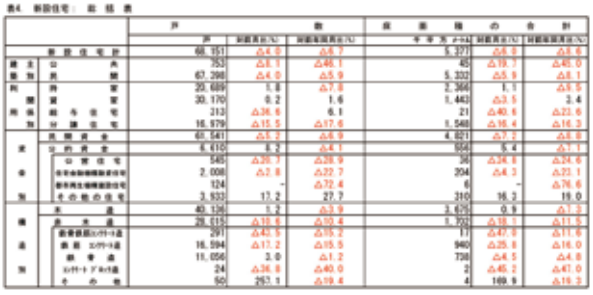
4年ぶりの忘年会を開催！
日時 11月22日（水）17：30～
場所 かに道楽中店（大阪市中央区）

建築物着工統計
（2023年9月の動き）

9月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比6.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。



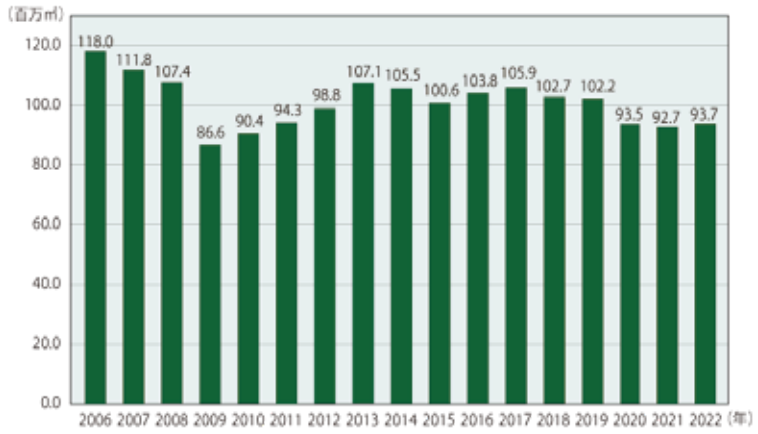
新設住宅総括表



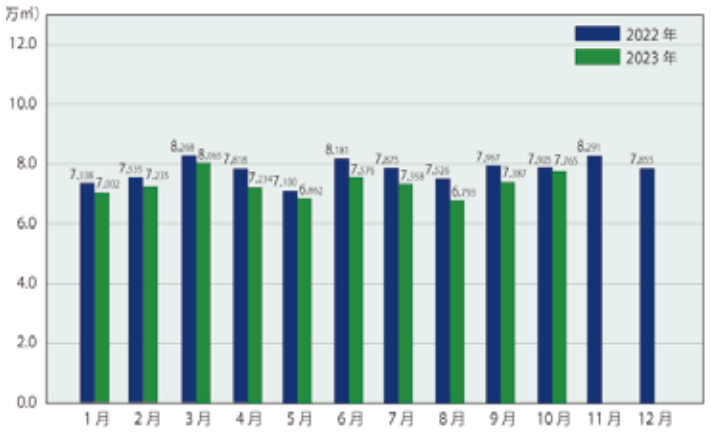
※国土交通省 建築着工統計（2023.9.30 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量



日本窯業外装材協会

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail：info@kanbo.jp.net